

4月1日(水) 本年度第36回(通算2771回)
「 雑誌月間に寄せて 」

担当/ロータリー情報委員会 12:30～釧路プリンスホテル

◆メーキャップ

3/31 足立功一君、萩原 昭博君、小松 亮次君、中嶋 嘉昭君、小山 義雄君、石井 東洋彦君
本間 明美さん、平井 昌弘君、菊地 美恵子さん、中島谷 友一朗君、多田 洋平君

◆出席報告【会員総数70名 免除5名 出席計算に用いた会員数70名】

本日の出席率 出席者34名 メーキャップ1名 出席率50%
前々回の修正出席率 出席者32名 メーキャップ3名 出席率50%

◆ニコニコ献金

- ・能登先輩よろしく申し上げます ～萩原 昭博君
- ・中嶋先輩、能登先輩よろしく申し上げます。てっちゃんも感謝します ～坂入 信行君
- ・めちゃくちゃお久しぶりでございます。かろうじて生きておりました ～泰地 浩幸君
- ・結婚記念日です。ありがとうございます ～中島谷 友一朗君
- ・入会記念日です。ありがとうございます ～新妻 繁市君
- ・今日の担当プログラム宜しく申し上げます ～能登 信孝君
- ・4/4結婚記念日、4と4が合わさると幸せです ～平井 昌弘君
- ・入会記念日です。ありがとうございます ～松原 久幸君

◆会長挨拶

皆様こんにちは。4月1日はエイプリルフールです。毎年4月1日は嘘をついてもよいという風習の事ですが4月1日正午までに限ると伝えられています。エイプリルフールの起源は全くの不明でどこでエイプリルフールの習慣が始まったかもわからないと言う事ですが、それはさておき、4月1日は皆様におきまして色々な面で新年度ではないでしょうか。進学・入社式・会社としても新年度をむかえる方もおられると思います。

ロータリー年度におきましては、4月は雑誌月間です。ロータリアンはザ・ロータリアンあるいは地域雑誌のどれか一つの購読を義務づけられております。毎月配布しておりますロータリーの友もその一つです。

皆様ご存じだと思いますが、昨年10月に催されたRI理事会でロータリーの特別月間が大きく変更されます。2015年7月1日佐渡会長年度からです。これまでもRI理事会の決定によって特別月間が変更されたり追加されたりしたことは何度もありますが、これだけ大幅に変更されたのは今までに前例がないのではないかと書かれておりました。残念なことに、雑誌月間とロータリー理解推進月間は姿を消します。8月、10月、11月、6月は変更はありません。詳しい事はロータリーの友2月号を読んでみてください。月間の変更に伴い次年度の例会プログラムも少し変化があるのかなと思っております。

◆幹事報告

- ・美瑛RC 創立40周年記念式典のご案内が届いております。5月24日(日)美瑛町民センター2時より記念式典、祝賀会は同日、ファームレストラン千代田におきまして16:00～18:00出席希望される方は、回覧致しますのでご記入お願い致します。
- ・昨日の釧路東RCの集団メーキャップスタンプラリーの参加者は11名の出席を頂きました。ありがとうございます。出席して頂きました会員のご報告は週報に掲載させていただきます。
- ・4月のロータリーレートのお知らせがきております。1\$=118円ということです。
- ・ロータリーの友、4月が届いております、皆様のパーソナルBOXに入れさせていただきます。
- ・各ロータリークラブ様より4月の例会プログラム・厚岸RC様より3月の会報、釧路市民憲章推進協議会様より広報誌「市民憲章くしろ」が届いておりますので回覧させていただきます。
- ・釧路北ローターアクトより、4月7日の例会案内、4月25日・26日の両日、当クラブでは丁度、地区協議会の開催日と重なっておりますが、ローターアクト第3ブロック行事、春の交流会並びに3ブロック合同例会開催の案内が来ておりますので、こちらの回覧をさせて頂いておりますので、ご参加できる方はご記入をお願いして、幹事報告とさせていただきます。



ロータリー情報委員会
委員長 能登信孝 君

【ロータリーの友について】

戦後1地区だった日本のロータリーが2地区に分割されたのが1952年7月。その少し前、4月に大阪で開催された地区大会で分割後の2地区が共有できる雑誌の創刊が決まりました。その後、東西のロータリアンが打ち合わせた結果、1953年1月に、『ロータリーの友』が創刊されました。1979年7月号からの1年間の試験期間を経て、1980年7月号から、『ロータリーの友』は、国際ロータリー(RI)の公式地域雑誌になりました。現在は、この呼び方が変わり、「ロータリー地域雑誌」と呼んでいます。RI本部で編集・発行している国際ロータリーの機関誌『The Rotarian』と、31の地域雑誌を合わせて、「ROTARY WORLD MAGAZINE PRESS」といいます。(各雑誌の発行国、発行部数などは、『友』誌4月号横組みP8～9に掲載)

「ROTARY WORLD MAGAZINE PRESS」の雑誌は、すべて、年度が始まる7月号の表紙に、その年度の国際ロータリー会長の写真を掲載することが決められています。

「ロータリー地域雑誌」には、『The Rotarian』に掲載された記事の中から、指定された記事を掲載する義務もあります。『友』では「RI指定記事」と呼んでいます。記事のタイトル辺りにロゴが入っています。目次には、「RI」のロゴが入っています。8月号に掲載されるRI指定記事の一つです。ロータリーについての簡単な紹介です。「Global Outlook」もRI指定記事です。「ポリオ撲滅」「識字率向上」などの国際ロータリーで力を入れている活動や、「ソーシャルメディア」「ロータリーの公共イメージの向上」などテーマ別に、幅広く特集が組まれています。11月号、2月号、5月号に掲載されています。先ほどの「ロータリーを再発見。」と同様、『友』誌の真ん中に組み込まれていますから、ここだけは必ずして保存することができます。

横組みには、ロータリーの特別月間に関する特集、ロータリー地域雑誌としての公式的な記事を中心に掲載しています。RI指定記事は横組みに入っています。

縦組みは、日本のロータリアンのコミュニケーションの懸け橋となる記事を掲載しています。投稿が中心です。コラム欄は、1～2年毎にテーマを変えて掲載されています。現在は、「Rotaryいま・・・」。ロータリーの新しい動きについて紹介されています。

震災直後からスタートした欄です。震災から4年が経過しましたが、まだ、多くのクラブや地区が支援活動を続けています。それらの支援活動や、被災地のロータリアンの現状報告などが掲載されています。縦組みのこのコーナーは、ロータリアン個人、ロータリークラブと、約3年毎にテーマや対象が変わっています。前年度からスタートしたシリーズのテーマは「町」です。地方の町に元気がないと言われていますが、その中でいろいろと工夫をしてがんばっているところを取り上げ、地元のロータリアンに案内をしていただく形で、プロのライターとカメラマンが取材をした記事です。

横組みの表紙裏（表2）の写真は、ロータリーの創始者ポール・ハリスの写真です。この写真は、1935年、ポール・ハリスが来日した時、撮られたものです。写真は毎号、同じですが、そこに添えられている言葉は、毎号、違います。ロータリーの創始者の思いに触れてください。

今年度、黄其光（Gary C. K. Huang）国際ロータリー会長は、全世界のロータリアンに「ロータリーデー」の開催を呼びかけられました。この呼びかけに応じて、世界で、日本で、さまざまな形でロータリーデーが開催されています。『ロータリーの友』では、これら「ロータリーデー」の記事が毎月掲載されています。国際ロータリーの最新情報を知ることができます。例えば・R I 理事会メンバー（7月号）ポリオプラスの現況報告（7月号）シドニー国際大会（8月号）人頭分担金の請求方法が変わります（9月号）視覚に訴えてロータリーのイメージ向上（1月号）ロータリー財団の資金モデル入門（2月号）R I 会長エレクトインタビュー（3月号）などがあります。このほか、毎月の国際ロータリー会長や財団管理委員長のメッセージ、エバンストン便りなどにも国際ロータリーの情報があります。国内の他クラブの活動や状況を知ることができます。例えば「ロータリー・アット・ワーク」（毎号）クラブ同好会（8月号）グローバル補助金を使ったプロジェクト（11月号）配偶者主体の奉仕活動（12月号）ホームページで情報発信（1月号）子どもが教室で学べるように（3月号）などがあります。

『ロータリーの友』は、国内のロータリアンから送られてくる原稿や写真を中心に編集されている雑誌です。私たちのクラブの活動も『ロータリーの友』に送れば、掲載してもらうことができます。投稿規定がありますから、それを確認して、規定に沿った原稿と写真を準備する必要があります。このほかに横組みの特集記事の募集がありますが、募集内容は「Rotary Japan」に掲載されます。投稿のすべてが掲載されるわけではありませんが、次にご紹介するポイントにご留意いただくと、掲載の確率はかなり高くなります。『ロータリーの友』に興味をもって読んでいただくためには、「良い写真」が大きなポイントになります。そのため、集合写真、記念写真は掲載されません。活動をした際はその様子がよくわかる写真を撮っておかなければなりません。ポイントを絞って書く。読者は私たちのクラブのことを知りません。クラブの説明を入れると、他クラブの人により理解していただけます。活動後、1か月以上経過した原稿は掲載できないので、できるだけ早くに準備をしなければなりません。個人を中傷誹謗したものの地区やクラブのもめ事について書かれたもの活動後、時間が経過したもの○周年記念例会・記念式典の記事（記念の奉仕活動は掲載します）長さなどが投稿規定に合わないもの

2013年4月に開催された国際ロータリーの規定審議会で、アメリカとカナダ以外のロータリアンも、印刷版と電子版の選択ができるようになりました（アメリカとカナダのロータリアンについては、2010年4月の規定審議会で、印刷版と電子版の選択ができるようになりました）。それに伴い、2014年1月号から、『ロータリーの友』電子版が配信されるようになりました。現在はテスト段階で、印刷版と電子版の双方を提供しています。『ロータリーの友』のホームページからアクセスできます。見るにはIDとパスワードを入力する必要があります。電子版は『ロータリーの友』の有料購読者だけに提供されているものです。

『Rotary Japan』という名前で、ホームページが開設されています。ロータリアン以外の人々に、ロータリーを知っていただくためのコンテンツページが構成されています。日本国内全クラブの例会一覧表が載っています。ホームページを開設しているクラブは、その例会一覧表にリンクが張られていますから、メイクアップの際に、事前にどのようなクラブか調べていくと、そのクラブの方々と楽しく話ができると思います。歴代の国際ロータリー（R I）会長・R I テーマ、国際大会の開催場所・登録者数、その他、ロータリー関連資料も掲載しています。

クラブや地区で広報への関心が高まってきていますが、広報のために使える冊子が何かほしいという声に応え、2008年8月、広報誌『ROTARY 世界と日本』が創刊され、2009年以降は、毎年8月にアップデートして発行されています。A5判16ページの小冊子で、1セット（10冊）で本体価格500円＋消費税です。私たちのクラブでも、地域での奉仕活動の際にロータリアンでない人々に配り、活用できればと思います。

2009年8月、「会員勧誘用」として、『ROTARY あなたも新しい風に』が創刊され、その後、毎年8月にアップデートし発行されています。奉仕活動だけではなく、例会や親睦などについての項目もあり、会員候補者にロータリーについてご紹介する時、便利だと思えます。B5判12ページの小冊子で、1セット（5冊）で、本体価格400円＋消費税です。

ご紹介してきましたように、『ロータリーの友』には、ロータリーに関するさまざまな情報が掲載されています。私たちのクラブでもこれらの情報を活用し、クラブの活動に役立てていければと思います。また、私たちのクラブの活動を『ロータリーの友』に投稿し、全国の皆さまに私たちのクラブのことを知ってもらうことが重要では無いかと考えます。

ご静聴ありがとうございました。